

01 待合室リノベーション	02 宝船さちかぜ	03 佐久島歓迎 地福開円満	04 ガリバーの目
MIURA LAB	松岡徹	松岡徹	木村崇人
05 西港歓迎太鼓	06 アイルランドin佐久島	07 佐久島空家計画/大葉邸	08 おひるねハウス
松岡徹	猫野べすか	平田五郎	南川祐輝
09 大和屋観音	10 ノンとピリーだ	11 クラインガルテン ウエルカムスペース	12 空の水ー山
松岡徹	松岡徹	松岡徹	青木野枝
13 カモメの駐車場	14 すわるとこプロジェクト	15 イーストハウス	16 佐久島のお庭
木村崇人	MIURA LAB	南川祐輝	松岡徹
17 星を想う場所	18 海神さま	19 佐久島の秘密基地/アポロ	20 むかしむかし
荒木由香里	松岡徹	POINT (長岡勉+田中正洋)	松岡徹
21 北のリボン	22 ひだまり庵	23 知識の蜂の巣	24 すぐその、向こう側
TAB	松岡徹	長岡勉 [POINT]	猫野べすか

防災情報

島で大きな地震に遭ったら

- ・島内放送をよく聞く。
- ・放送は状況によっては聞こえづらいこともあるので注意!
- ・津波退避場所や近くの高台に避難!
- ・安全が確認された後、避難場所の佐久島開発総合センターへ移動。



■青色…津波浸水想定区域
◆地震/想定最大震度7
◆津波/津波の高さ 5.1m(想定)
津波到達時間41分

島からの注意とお願い

ゴミは持ち帰ろう

指定場所以外のBBQ禁止

ネコにエサをあげないで

撮影スポットは譲り合おう

体験型作品は看板を読んで安全に

自転車のマナー

SPEED
スピード出し過ぎは×

道一杯に広がらない

止まれ
交差点事故に注意 守ろう一旦停止

P
駐輪場に駐車しましょう

集落内は歩きましょう

※自転車乗り入れ禁止の場所…佐久島のお庭、ソテツの広場(北のリボン)、ひだまりの広場(ひだまり庵)、大葉邸
※舗装されていない山道は徒歩をおすすめします。

島外作品



佐久島ナビステーション

- 23 知識の蜂の巣
- 24 すぐその、向こう側

佐久島アート巡り オススメコース 徒歩・平日推奨

佐久島巡りは断然徒歩がおすすめです。お散歩の途中にあなたにしか見つけられない景色がたくさんあるはず。さあ、佐久島アートピクニックへ出かけよう!

定番アートコース

所要時間: 約2時間 ※どちらからスタートしてもOK!

- 01 西港渡船場 待合室リノベーション
02 宝船さちかぜ
03 佐久島歓迎 地福開円満
07 大葉邸 (見学は午後4時半まで) 弁天サロンで申し込みが必要
08 おひるねハウス (撮影待ちの列に注意!)
- 11 クラインガルテン ウェルカムスペース
- ★ 佐久島地蔵
- ★ すわるとこプロジェクト
- 13 カモメの駐車場
- 15 イーストハウス
- 16 佐久島のお庭
- 20 東港渡船場 むかしむかし

海コース

所要時間: 約4時間 ※どちらからスタートしてもOK!

干潮時は海岸沿い歩くこともできる海コース。年中楽しめますが、特に春や秋の穏やかな季節がおすすめ。

- 01 西港渡船場 待合室リノベーション
02 宝船さちかぜ
03 佐久島歓迎 地福開円満
04 ガリバーの目
05 弁天サロン
06 弁天サロン
- 08 おひるねハウス
- 11 クラインガルテン ウェルカムスペース
- ★ 佐久島地蔵
- ★ すわるとこプロジェクト
- 13 カモメの駐車場
- 15 イーストハウス
- 16 佐久島のお庭
- 18 海神さま
- 19 「筒島・佐久島弁財天」 堤防を歩き筒島へ渡ります。
- 20 東港渡船場 むかしむかし

山コース

所要時間: 約4時間 ※どちらからスタートしてもOK!

佐久島には30m級の山が4つ連なっており、その道中にアート作品が点在。アートなトレッキングを楽しもう。

- 01 西港渡船場 待合室リノベーション
02 宝船さちかぜ
03 佐久島歓迎 地福開円満
- 12 空の水ー山
- 21 北のリボン
- ★ 北のテーブル
- 22 ひだまり庵
- 17 星を想う場所
- 山へ戻る
- 秋葉山古墳
- 八剣神社
- 阿弥陀寺
- 18 海神さま
- 20 東港渡船場 むかしむかし

弁天サロン [入場無料]

開館時間/午前9時~午後5時 年末年始・月曜休館 (月曜祝日の場合、祝日明けの最初の平日) 7・8月は無休
弁天サロン内の作品[05][06]と大葉邸[07]屋内(弁天サロンでの申し込みが必要)は、休館日は見学できません。

佐久島ナビステーション [入場無料]

開館時間/午前9時~午後5時
年末年始・水曜休館 7月20日~8月は無休
佐久島ナビステーション内の作品[23][24]は、休館日は見学できません。ご了承ください。

伊予 佐久島
アートピクニック
2019

2019.4~2020.3
会場/島内22ヶ所・島外2ヶ所



迷子も楽しいアートな島巡りへ
LET'S GO!!



常設展示作品24点の
体験と鑑賞の手引き

01 待合室リノベーション

西港渡船場 2階待合室 名城大学理工学部建築学科 MIURA LAB (2011)

古く暗かった待合室を明るい白と貝染めの紫を基調に改装。渡船を待つ時間も楽しくなる空間にビフォーアフター。

02 宝船さちかぜ

西港渡船場 松岡徹 (2003)

のぞき箱の中にあるのは、本物の風景の向こうにある松岡徹が見つけた想像の世界の佐久島。市営渡船「さちかぜ」の運ぶ交流が、島にとっての宝物となりますように。

03 佐久島歓迎 地福開円満

西港渡船場 松岡徹 (2010)

アートと顔出し看板のコラボレーション。1人〜3人まで人数に合わせて顔を出したり閉じたりでき、縁起物の鯛も持ったりできるハイテク仕様。記念撮影にどうぞ。

04 ガリバーの目

崇運寺 木村崇人 (2003)

「もし巨人になったら、どんな風景がみえるのか?」それを体験しよう。小さな鏡に映っている大きな鏡の中の風景を、目に力を入れないで平行に見つめてください。

05 西港歓迎太鼓

松岡徹 (2003)

のぞき箱作品。島の祭りに欠かせない勇壮な佐久島太鼓。旅人を歓迎する響きが聞こえてきそうです。

06 アイルランド in 佐久島

猫野べすか (2007)

佐久島にある実際の風景を舞台にした版画作品が6点展示されています。同じ景色を見つけれられるかな?



※両作品とも 弁天サロン内

07 佐久島空家計画 / 大葉邸

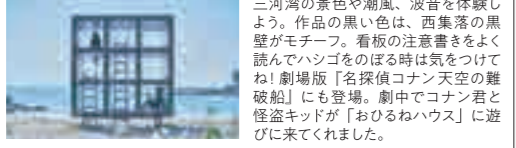
西集落 平田五郎 (2002-2008)

築100年の古民家を6回に渡って1軒丸ごと作品化。庭は年中無休で見学可。室内見学は弁天サロンでの申し込みが必要(見学は午後4時半まで)。スタンプは玄関外にあり、いつでも押せます。

08 おひるねハウス

石垣(しがけ) 海岸 南川祐輝 (2004・2013再制作)

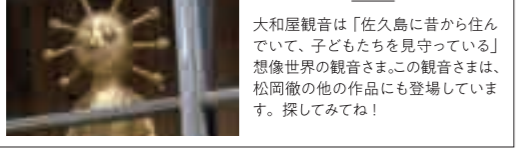
三河湾の景色や潮風、波音を体験しよう。作品の黒い色は、西集落の黒壁がモチーフ。看板の注意書きをよく読んでハシゴをのぼる時は気をつけてね! 劇場版「名探偵コナン 天空の難破船」にも登場。劇中でコナン君と怪盗キッドが「おひるねハウス」に遊びに来てください。



09 大和屋観音

弁天サロン内 松岡徹 (2003)

大和屋観音は「佐久島に昔から住んでいて、子どもたちを見守っている」想像世界の観音さま。この観音さまは、松岡徹の他の作品にも登場しています。探してみてください!



10 ノンとビリーだ

フラワーロード沿い 松岡徹 (2003)

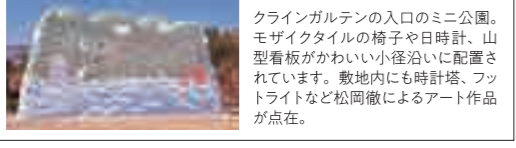
のぞき箱作品。ノンとビリーはヤギの名前です。雑草を食べるのがお仕事。フラワーロード沿いに小屋があります。



11 クラインガルテンウェルカムスペース

フラワーロード沿い 松岡徹 (2012)

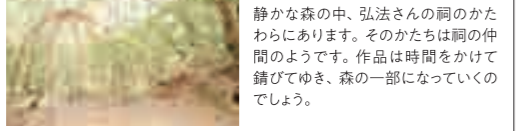
クラインガルテンの入口のミニ公園。モザイクタイルの椅子や時計、山型看板がかわいい小径沿いに配置されています。敷地内にも時計塔、フットライトなど松岡徹によるアート作品が点在。



12 空の水 - 山

白山社・東側 青木野枝 (2008)

静かな森の中、弘法さんの祠のかたわらにあります。そのかたちは祠の仲間のようなです。作品は時間をかけて錆びてゆき、森の一部になっていくでしょう。



- 01 Art Work アート作品
- Evacuation Area 避難場所
- Tsunami Evacuation Area 津波退避場所
- Restroom トイレ
- Bicycle Parking 駐輪場
- ★ 印の作品にはスタンプがありません
- 印の作品は佐久島弘法プロジェクトの常設作品です 弘法巡りに参加される方は「佐久島弘法巡りスタンプシート」をご利用ください

SAKUSHIMA ART PICNIC

佐久島アート常設展示作品24点

13 カモメの駐車場

大浦海水浴場 木村崇人 (2005)

風の島である佐久島は風にたくさんの呼び名があります。東風は「こち」南風を「まぜ」など。ナウシカの谷にも本当はたくさんの風の名前があるんだろうなあ。この作品は風を見るための装置です。

14 すわるとこプロジェクト

フラワーロード 名城大学理工学部建築学科 MIURA LAB (2008)

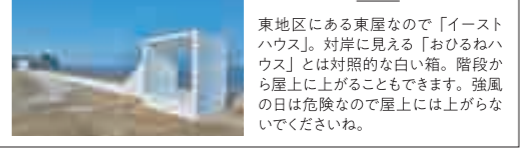
座ったり、寝転がったり、のんびり景色を楽しむためのものです。他にも2カ所あります。さがして一服してください。



15 イーストハウス

大島橋樑ポケットパーク 南川祐輝 (2010・2018再制作)

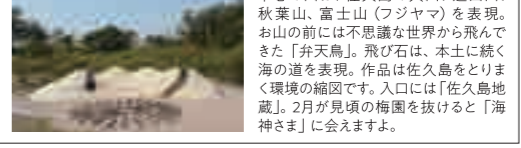
東地区にある東屋なので「イーストハウス」。対岸に見える「おひるねハウス」とは対照的な白い箱。階段から屋上へ上がることもできます。強風の日は危険なので屋上には上がらないでください。



16 佐久島のお庭

大島 松岡徹 (2006-2009)

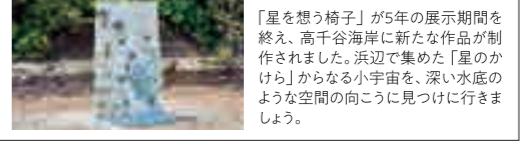
中心の山は、佐久島の大山、遠田山、秋葉山、富士山(フジヤマ)を表現。お山の前には不思議な世界から飛んできた「弁天鳥」。飛び石は、本土に続く海の道を表現。作品は佐久島をとりまく環境を再生させました。ひだまりの広場は2016年も引き続き作品化が行われ、森の中の静かな小さな公園は少しずつ変わってきました。



17 星を想う場所

高千谷 荒木由香里 (2017)

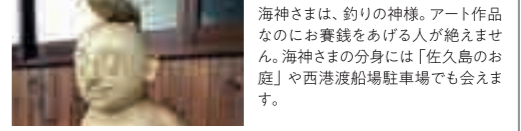
「星を想う椅子」が5年の展示期間を終え、高千谷海岸に新たな作品が制作されました。浜辺で集めた「星のかげら」からなる小宇宙を、深い水底のような空間の向こうに見つけに行きましょう。



18 海神さま

正念寺 松岡徹 (2003)

海神さまは、釣りの神様。アート作品などにお費金をあける人が絶えません。海神さまの分身には「佐久島のお庭」や西港渡船場駐車場でも会えます。



19 佐久島の秘密基地 / アポロ

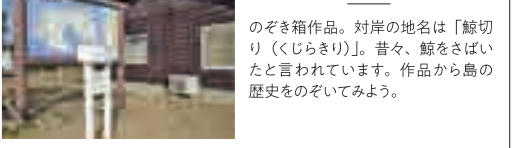
筒島手前 [POINT] 長岡勉 + 田中正洋 (2013)

木々のトンネルを抜けて渾美半島を見渡す崖の上に現れた建築作品のイメージはアポロ11号の月面着陸船。小さな建物なのに異なるたくさんの風景を体験できます。2階は狭いので譲り合ってください。

20 むかしむかし

東港渡船場 松岡徹 (2003)

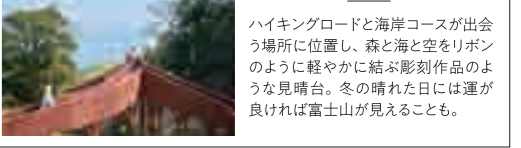
のぞき箱作品。対岸の地名は「鯨切り(くじらきり)」。昔々、鯨をさばいたと言われています。作品から島の歴史をのぞいてみよう。



21 北のリボン

ソテツの広場 TAB (2015)

ハイキングロードと海岸コースが出会う場所に位置し、森と海と空をリボンのように軽やかに結び彫刻作品のような見晴台。冬の晴れた日には運が良ければ富士山が見えることも。



22 ひだまり庵

ひだまりの広場 松岡徹 (2015-2016)

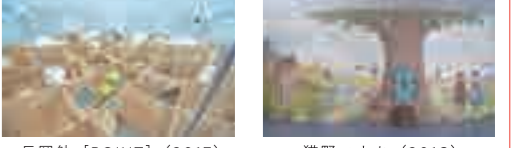
古びた「あずまや」とベンチのある小さな公園のリノベーション。絵具で描くようにモザイクタイルが古く暗いあずまややベンチを再生させました。ひだまりの広場は2016年も引き続き作品化が行われ、森の中の静かな小さな公園は少しずつ変わってきました。



23 知識の蜂の巣

長岡勉 [POINT] (2017)

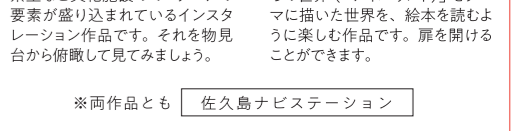
ドームの円天井に呼応するようにすり鉢状に作られた迷宮のような空間にギャラリー、ライブラリー、茶室など文化施設のミニチュアの要素が盛り込まれているインスタレーション作品です。それを物見台から俯瞰して見てみましょう。



24 すぐその、向こう側

猫野べすか (2018)

版画家で絵本作家の作者が、118メートルの壁に「この世界と似ているけれど何かちと違うあちらの世界(=アイルランド)」をテーマに描いた世界を、絵本を読むように楽しむ作品です。扉を開けることができます。



※両作品とも 佐久島ナビステーション